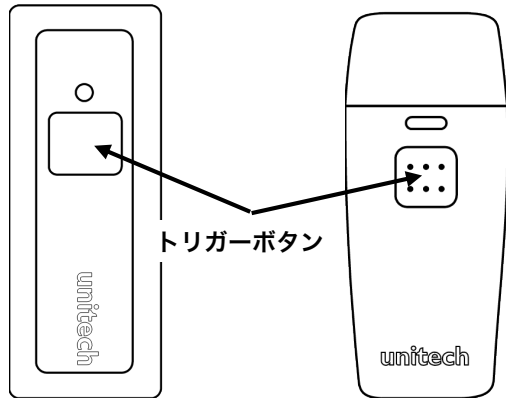


基本操作

スキャナの電源をオンにする

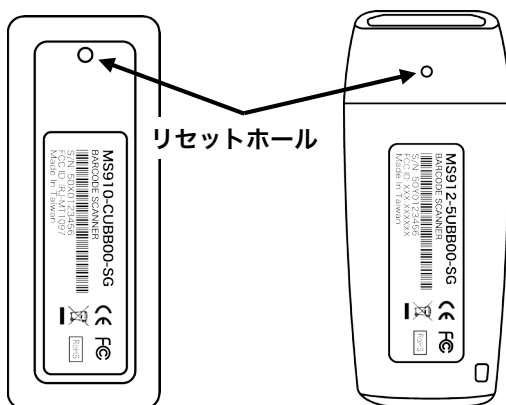
スキャナの電源がオフの状態、トリガーボタンを1秒以上長押ししてください。スキャナの電源がオンになったとき「ピーー」という音が鳴ります。



スキャナの電源をオフにする (リセット)

スキャナの電源がオンの状態で、リセットホールに先の尖っていない細い棒 (クリップを伸ばしたものなど) を差込んで、内部のリセットスイッチを押してください。スキャナがリセットされると電源がオフになります。

※ 設定や通信情報は変更されません。



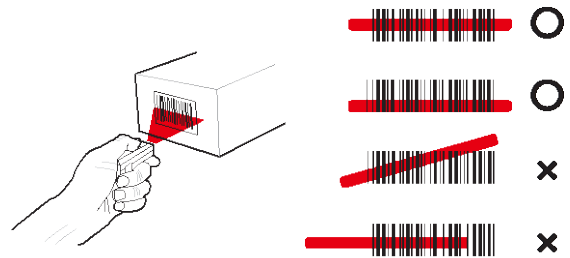
ペアリング完了後の使用方法

使用を開始するときは、トリガーボタンを1秒以上長押しして、スキャナの電源をオンにしてください。スキャナの電源がオンになったときに再接続が開始されますので、再接続が完了するまでお待ちください。

※ 再接続できない場合は、スキャナのリセットを行ってから、もう一度電源をオンにしてください。

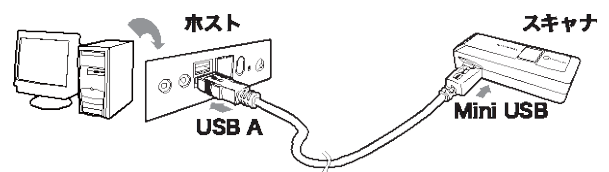
るようにしてください。読取りにくい場合は、トリガーボタンを押し続けたまま、バーコードとスキャナの距離を調整してください。

バーコードの読取りに最適な距離はバーコードの種類や縮小・拡大率、印刷の状態、印刷台紙の種類・色などによって様々です。また、バーコードの細いバーが細すぎるものや、バーコードの幅自体が広すぎるもの、印刷品質が悪くかすれているものなどは読取ることができません。



スキャナを充電する

スキャナを2時間以上充電してください。バッテリーの残量が十分ないと接続が正常に行なわれない場合があります。



スキャナの動作が不安定なとき

スキャナの動作が不安定なときは、スキャナをリセットしてください。

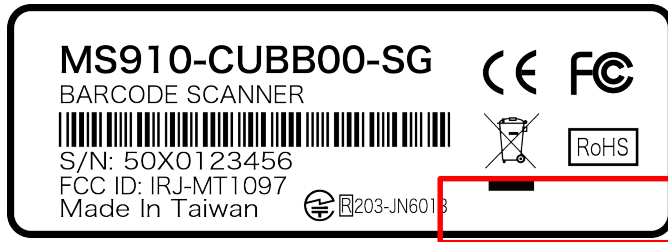
本書内の iOS デバイスについて

本書内で使用される iOS デバイスとは「iPhone」や「iPad」等に代表される Apple 社製モバイル機器の総称です。

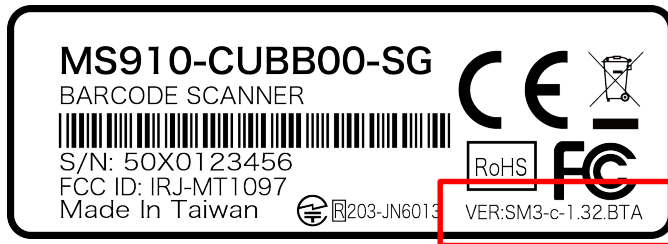
※注意※

- 本スキャナは、全ての iOS デバイスとの接続および動作を保証するものではありません。
- iOS デバイスの質問や操作方法等については apple 社へお問い合わせください。
- 本スキャナの本体のバージョンによって一部操作が異なる箇所があります。お使いいただいているスキャナのバージョンを確認するには、製品ラベルをご覧ください。

V1.04、V1.11、V1.22 (赤で囲った部分にバージョン表記がない)



V1.32 以降 (赤で囲った部分にバージョン表記がある)



iOS デバイスと接続する

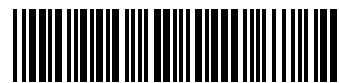
- 1 スキャナのトリガーボタンを 1 秒以上長押しして電源をオンにしてください。

※ 充電中の場合は USB ケーブルを外してください。

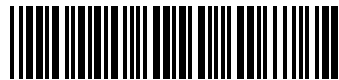
- 2 スキャナを使用して次のバーコードを上から順番に読取ってください。



通信切断/ペアリング削除



HID モード



Simple Secure Paring 無効



自動電源オフ無効

- 3 スキャナの電源がオンの状態でリセットスイッチを押し、スキャナの電源をオフにしてください。

※ 電源がオフの時は LED ランプが消灯します。

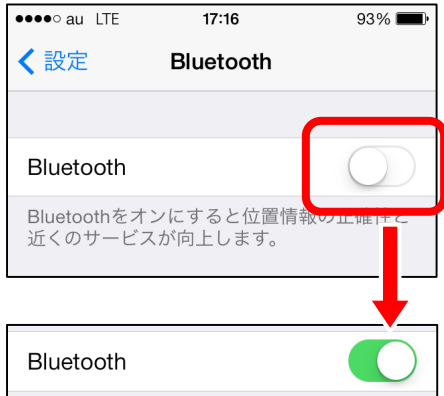
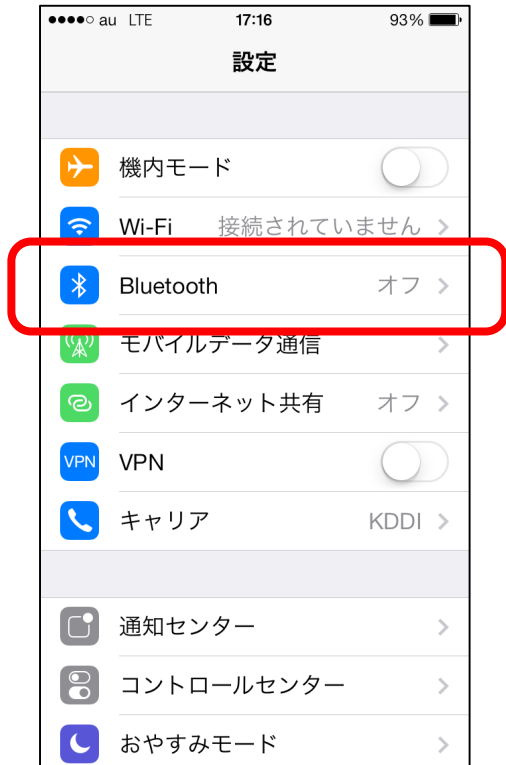
- 4 iOS デバイスの電源をオフにしてください。

※ 詳細は iOS デバイスの取扱説明書をご確認ください。

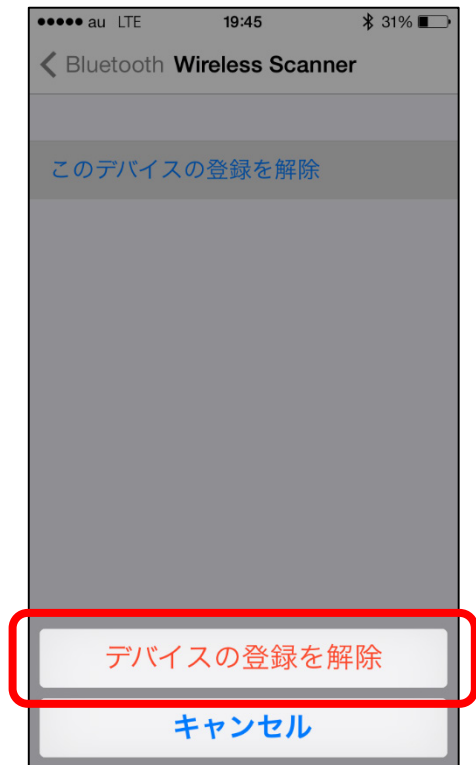
- 5 iOS デバイスの電源をオンにしてください。

※ 詳細は iOS デバイスの取扱説明書をご確認ください。

6 iOS デバイスのホーム画面の 設定 → Bluetooth → Bluetooth 右のスイッチをタッチして「ON」にしてください。



7 Wireless Scanner 右の「」 → 「登録を解除」 → 「デバイスの登録を解除」とタッチしてください。



※ が表示されていない場合や Wireless Scanner が表示されていない場合は、この手順をスキップして次へ進んでください。

8 スキャナのトリガーボタンを 1 秒以上長押しして電源をオンにしてください。

- ※ 接続待機中の場合は緑色の LED が点滅し続けます。
- ※ 充電中の場合は赤色 LED ランプも一緒に点灯している場合があります。

9 iOS デバイスの Bluetooth 画面に「Wireless Scanner」が表示されることを確認してください。

- ※ スキャナの電源がオンになったばかりの場合は検索に時間がかかる場合があります。
- ※ 1 分以上待っても検索されない場合は、「通信切断/ペアリング削除」バーコードを読み取ってから、スキャナをリセットして、もう一度電源をオンにしてください。

10 スキャナが接続待機 (緑色 LED 点滅) の状態で、「Wireless Scanner」をタッチしてください。



- ※ Wireless Scanner の右に マークがないことを確認し、アイコンが表示されている場合は「登録を解除」してください。
- ※ iOS デバイスの画面幅が異なるため、Wireless Scanner の全ての文字が表示できない場合があります。

11 暫くすると、スキャナが「ピッピッ」と鳴動し、緑 LED ランプが消灯して接続が完了します。
このとき、iOS デバイスの画面にパスコードが表示される場合は、右の【パスコードの入力方法】を参考に本スキャナを使用してパスコードを入力してください。パスコードを正常に入力すると接続が完了します。



- ※ 上図はパスコードの表示例です。ランダムな数字が表示されます。

【パスコードの入力方法】

たとえば、図例のパスコード「0135」を入力するには、

- ① パスコード入力開始
- ② 0 → 1 → 3 → 5
- ③ ENTER

の順に、本スキャナで下記バーコードを読み取ります。

- ※ 隣り合ったバーコードを誤って読取らないよう、必要の無いバーコードを隠しながら読取ってください。



パスコード入力開始



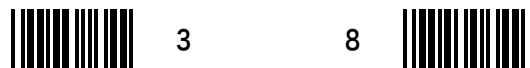
1

6



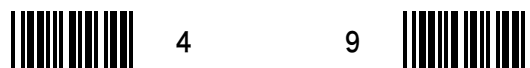
2

7



3

8



4

9



5

0



ENTER

正しいパスコードが送信されると、スキャナが「ピッピッ」と鳴動し、緑 LED ランプが消灯して接続が完了します。

最後に必ず

- ④ パスコード入力終了
- ⑤ 設定初期化

を読み取ってください。



パスコード入力終了



設定初期化

- ※ パスコードの入力がうまくいかなかった場合は次のページも参考にしてください。

<パスワードの入力に失敗したときは?>

パスワードの入力が 30 秒以内に終わらなかった場合 (タイムアウト) や、パスワードの入力を間違ってしまった場合は、「RESET」を
読取って入力をキャンセルし、iOS デバイスの画面にエラーメッセージが表示されるまで待機してください。

エラーメッセージが表示されたら、メッセージを閉じてもう一度ペアリング作業を行ってください。



RESET

<パスワードの入力が何度やっても失敗するときは?>

パスワードの入力を何度繰り返しても失敗し続ける場合は、次のバーコードを上から順番に読取って、もう一度最初の手順から行ってください。



SPP モード



HID モード



SPP モード

12 iOS デバイスの Bluetooth 画面のデバイスに表示されている Wireless Scanner に「接続されました」と表示されていることを確認してください。切断中は「接続されていません」と表示されます。



※ Bluetooth 機器が接続されている場合、ステータスバーの Bluetooth アイコンが濃く表示されます。接続されていない場合はスキャナのトリガーボタンを 1 秒以上押し続けて電源を入れ、再接続されるまでお待ちください。

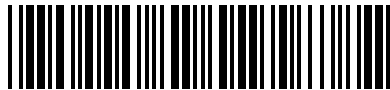


本スキャナと画面キーボードを同時に使用する

1. スキャナを使用して「ダブルクリックキーボード有効」を
読取ってください。



ダブルクリックキーボード有効



ダブルクリックキーボード無効

2. この機能が有効になっているときに、スキャナのトリガー
ボタンを素早くダブルクリックすると、iOS の画面キー
ボードが表示されます。

※ 通常、キーボードの表示されないホームスクリーンのような場所では本
機能は使用できません。


3. ダブルクリック機能が使用できない場合は、次の「キーボ
ード表示切替」を読取ってください。ダブルクリック機能
と同じ事をバーコードで行ないます。




キーボード表示切替

※ オンスクリーンキーボードが画面に表示されている時はオンスクリーン
キーボードが消えます。

バーコードを読取ってみる

- 1 スキャナの電源がオンになっていて、iOS デバイスと接続
されていることを確認してください。
- 2  メモを実行して新規作成してください。
- 3 左の「本スキャナと画面キーボードを同時に使用する」を
行なって、画面キーボードを表示してください。
- 4 入力方法を「English (US)」に変更してください。

※ 入力方法の変更は、画面キーボードの  を長押しします。



※ 入力方法に「English (US)」が無い場合は、[設定]-[一般]-[キーボ
ード]から英語キーボードを追加してください。

- 5 目的のバーコード、または巻末のテストバーコードを読取
ってください。バーコードの最後で改行しない場合は、入
力方法が「English (US)」以外になっている可能性があります。

トラブルシューティング

初回の接続は正常に行えたのに、スキャナの電源がオフになった後にもう一度オンすると接続できなくなっている。

本書に接続手順としての記載はございませんが、iOS7以降を搭載したiOSデバイスにパスコードを使用しない接続方法を行なった場合、2回目以降の再接続に「とても時間がかかる」または「再接続できない」という現象が発生します。

本書を参考にパスコードを使用した接続に変更してください。

それまで正常に接続して使用できていたのに、突然接続しなくなり緑LEDが点滅を繰り返す。

iOSデバイスのBluetooth画面で、Bluetoothが有効になっているかご確認ください。

次に同画面で、Wireless Scannerが「接続されていません」と表示されている場合はスキャナの緑LEDランプが点滅している事を確認してからWireless Scannerをタッチして接続を試みてください。Wireless Scannerをタッチしても反応が無い場合やエラーが表示される場合は、一度スキャナの電源オフ(リセット)とiOSデバイスの電源をオフ→オンしてみてください。

それでも接続できない場合は、本書を参考にもう一度再接続をしてください。

Wireless Scannerに「ペアリングされていません」と表示されている場合は、何らかの理由でiOSデバイスのペアリングが解除されていますので、本書を参考にもう一度再接続をしてください。

バーコードを読むと「ピピピピピピ」とエラー音が鳴る。

パスコードを入力し終えた後に「パスコード入力終了」のバーコードを読み取っていないときのエラー音です。4ページの「パスコード入力終了」バーコードを読み取ってください。

バーコードを読むと「ピピピ」とエラー音が鳴る。

正常に接続できていない場合のエラー音です。接続してからバーコードを読み取ってください。

スキャナが接続できていないときは、スキャナの緑LEDランプが点滅を繰り返します。1分以上経っても緑LEDランプの点滅が消えない場合は、本書を参考に再接続をしてください。

バーコードを読むと「ピッ」と読み取り成功音が鳴るにもかかわらず、iOSデバイスの画面に表示されない。

バーコードデータを入力するアプリが文字入力可能な状態になっているかをご確認ください。

アプリが文字入力可能な状態でもバーコードデータが表示されない場合は、iOSデバイスを再起動してみてください。

バーコードデータ後に自動改行しない。

バーコードデータがひらがなになったりする。

iOSデバイスの入力方法(キーボード)を「English(US)」に変更してください。

バーコードデータが本来と全く異なる文字列になる。

iOSデバイスの推測変換など文字入力に関する補完機能を無効にしてください。

充電しなくなった。

スキャナの充電用USBコネクタは若干固くなっています。USBコネクタ保護カバーをめくり上げてUSBケーブルを接続したら、USBコネクタ保護カバーを手前に軽く引っ張って引き出し、その状態でもう少し奥まで差込んでください。

動作しなくなった。

スキャナのトリガーボタンを長押ししたときに赤LEDが点灯するにもかかわらず、電源がオンにならずバーコード読取光もでない場合は、バッテリーの残量がほとんどありません。2時間以上充電してから再使用してください。

スキャナをバージョンアップしたい。

本スキャナは、ソフトウェアバージョンアップに対応しております。誠に申し訳ございませんが、バージョンを変更するにはハードウェアそのものをご変更いただく必要がございます。

設定変更用バーコード (抜粋)

全ての設定バーコードを確認するには、弊社 Web ページよりダウンロード可能なユーザーマニュアルの最新版をご利用ください。



設定初期化



バージョンチェック

【ターミネータ】

バーコードの最後に送信する機能キーです。



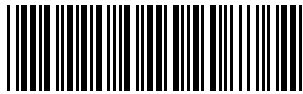
ENTER キー (標準値)



Tab キー

【強制電源 OFF】

電源 OFF バーコードを読み取ると、スキャナの電源が即座に OFF となります。この機能は、バージョンが V1.22 以降のスキャナで使用できます。



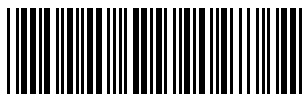
電源 OFF

【読取成功ピープ】

バーコードの読取が成功したときのピープ音を変更できます。



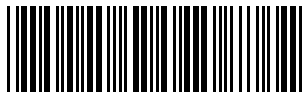
鳴らす (標準値)



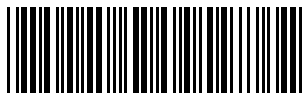
鳴らさない

【システムピープ】

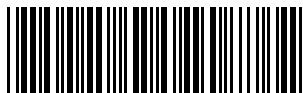
エラー音や通信音を含むすべてのピープ音を変更できます。この機能は、バージョンが V1.22 以降のスキャナで使用できます。



全て鳴らす (標準値)



エラー音のみ鳴らす



全て鳴らさない

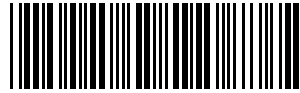
※ 通信接続・切断、エラー音、バッテリー残量警告など通常動作時のすべての音が鳴らなくなりますのでご注意ください。

【スキャンモード】

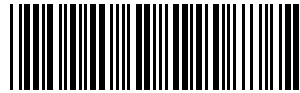
トリガーボタン押下時のバーコード読取光の照射方法を変更できます。各設定の詳細はユーザーマニュアルをご参照ください。



トリガー (標準値)



ワンプレスワンスキャン



連続

【先頭 0 の JAN コード】

本スキャナは先頭が 0 から始まる JAN コードを読み取ると、先頭の 0 を消去して 12 桁で読み取ります。UPC を JAN に拡張すると先頭の 0 も含んだ 13 桁で読み取れるようになります。



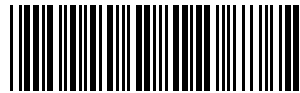
UPC を JAN に拡張しない (標準値)



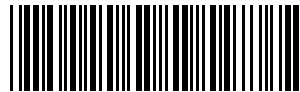
UPC を JAN に拡張する

【Codabar(NW7)のスタートストップ文字】

Codabar のスタートストップ文字「A/B/C/D」の送信を変更できます。



送信する (標準値)



送信しない

テスト用バーコード

Code 39



UNITECHE

Code 128



Unitech128

JAN13



4912345678904

Codabar (NW7)



A22357000599877A